

## 第25回施肥技術講習会募集要項

(第7回実学コース・更新講習会)

- 主 催： 一般社団法人 全国肥料商連合会
- 後 援： 農 林 水 産 省
- 日 時： 平成31年2月21日(木) 9:15 受 付  
10:00～10:15 開講式  
10:15～17:30 講 義  
17:30～17:45 閉講式  
18:00～20:00 意見交換会(有志)
- 場 所： 愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」  
10階1002会議室  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38  
TEL052-571-6131  
交通：●JR名古屋駅桜通口から、ミッドランドスクエア方面 徒歩5分  
●ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

- 講 師： 後藤 逸男 先生 (東京農業大学名誉教授)  
小川 吉雄 先生 (鯉淵学園農業栄養専門学校教授)  
六本木和夫 先生 (元埼玉県農林総合研究センター部長)  
渡辺 和彦 先生 (元東京農業大学客員教授)

\*講師プロフィールは別紙の通り

- 講義概要：【後藤 逸男先生】  
～土壌診断に基づいた施肥～  
① 土壌診断調査法の解説  
(土壌診断のための試抗調査と土壌試料採取)  
② 土壌診断分析法の基本と最新技術の紹介  
③ 実践、土壌診断分析結果に基づいた施肥管理  
(露地野菜・施設野菜・施設花卉・水田他)  
④ 土壌改良資材の特性と上手な使い方  
(転炉スラグ・天然ゼオライトを中心に)

### 【小川 吉雄先生】

～物質循環を中心とした施肥と環境影響～

- ① 農業と環境
  - ・ 農業と環境問題
  - ・ 自然生態系と農業生態系
  - ・ 文明の画期と環境の変動（人新世）
- ② 物質循環の破綻と環境影響
  - ・ 物質循環と地球をめぐる大循環
  - ・ 炭素の循環と地球温暖化
  - ・ あふれる窒素をどうするか
- ③ 物質循環を中心とした施肥管理
  - ・ 環境にやさしい農業の進め方
  - ・ 物質循環に配慮した施肥管理の最近の研究

### 【六本木 和夫先生】

～リアルタイム診断と施肥管理～

- ① リアルタイム診断の必要性
- ② リアルタイム診断手法の開発
- ③ 作物別診断      (1) 果菜類、      (2) 花き類、      (3) 果樹
- ④ 栽培現場における診断（硝酸イオン測定簡易器具の説明）
- ⑤ 養液土耕栽培（かん水同時施肥）

### 【渡辺 和彦先生】

～肥料・ミネラルの作物と人での働き～

- ① 農水省が硝酸態窒素に対する考え方を変えた！
- ② 高品質、多収穫の施肥のポイント、注意点  
(隠れた元素、マグネシウム、イオウ、ケイ素)
- ③ ミネラルと人との健康、特にケイ素、ホウ素について
- ④ 有機物施用で生じる微量元素欠乏  
(特にホウ素、マンガン、銅、亜鉛)

\*各講師の講義内容は変更する場合があります。

7. 講義内容：
- ① 講義時間は1講義90分、休憩15分で行う。
  - ② テキストは講師が使用するプロジェクター資料を配布します。

- ③ 講義終了後検定試験は行いませんが、1か月以内に印象に残った講義についてレポートを提出頂き、講師の評価を受けます。

8. 受講対象者： 過去全肥商連施肥技術講習会を受講し、「施肥技術マイスター」登録後4年～6年経過した登録者（登録有効期限：平成28年9月30日～平成30年12月31日迄）の方、及び都道府県普及職員(含新規受講者)。

9. 更新の選択： **【施肥技術マイスター登録者】**

受講後の手続きにより登録が変わります。下記（A）か（B）、どちらかを選択して頂きます。

**(A)：「施肥技術シニアマイスター」登録希望**

◇受講後印象に残った講義について、3週間以内にA4判用紙2枚程度レポートを郵送し評価を判定する。（パソコン作成可）

**(B)：「施肥技術マイスター」更新希望**

◇レポート提出義務はありません。

- \*（A）、（B）何れも、認定証カード用写真(3.5×4.5cm、裏面に氏名記載)を郵送願います。何れも登録料、更新料として5千円お振込み願います。

**【今回初めて受講される方】**

- \* 手続きが異なりますので、お申込みの際事前に本部宛ご連絡願います。

10. 募集人数： 定員120名。

11. 受講料： 2万円。

12. 意見交換会： 講義終了後、講師を囲んで意見交換会を実施します。講義内容の補完、生産現場での情報交換等ご活用下さい。（立食・ドリンク付¥3,000円）

13. 募集締切り：平成31年1月31日（木）迄に、FAXでお申込み下さい。

但し、申込み人数が定員に達し次第、締切らせて戴く場合があります。

14. 宿泊： 必要な方は、各自ホテルを自由にご予約願います。

以上

平成 年 月 日

(一社)全国肥料商連合会 殿

(FAX : 03-3817-8882)

**受講申込書 (第7回実学コース・名古屋市更新講習会)**

会社名 :

担当者名 :

住所 : 〒

TEL :

FAX :

第25回施肥技術講習会を受講したいので、下記の通り申込みます。

受講者名	生年月日	年齢	性別	登録番号	有効期限	意見交換会
①	T/S/H		男・女			参加・不
②	T/S/H		男・女			参加・不
③	T/S/H		男・女			参加・不
④	T/S/H		男・女			参加・不
⑤	T/S/H		男・女			参加・不
⑥	T/S/H		男・女			参加・不

受講者E-Mailアドレス :

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

第25回施肥技術講習会(第7回実学コース)

2019年2月21日(木)

講義スケジュール表

会場: 愛知県産業労働センター「ウインクあいち」

主催: (一社)全国肥料商連合会

後援: 農 林 水 産 省

時限	時 間		講 師	講 義 内 容
	9:15~	受 付		
	10:00~10:15	開講式		
1	10:15~11:45		後 藤	<b>【土壌診断に基づいた施肥】</b> (1)環境にやさしい農業とは、診断調査法の解説 (土壌診断のための試坑調査と土壌試料採取) (2)土壌診断分析法の基本と最新技術の紹介 (3)実践、土壌診断分析結果に基づいた施肥管理 (露地野菜・施設野菜・施設花卉・水田他) (4)土壌改良資材の特性と上手な使い方 (転炉スラグ・天然ゼオライトを中心に)
	11:45~12:30	昼 食		
2	12:30~14:00		小 川	<b>【物質循環を中心とした施肥と環境影響】</b> (1)農業と環境 ・農業と環境問題 ・自然生態系と農業生態系 ・文明の画期と環境の変動(人新世) (2)物質循環の破綻と環境影響 ・物質循環と地球をめぐる大循環 ・炭素の循環と地球温暖化 ・あふれる窒素をどうするか (3)物質循環を中心とした施肥管理 ・環境にやさしい農業の進め方 ・物質循環に配慮した施肥管理の最近の研究
	14:00~14:15	休 憩		
3	14:15~15:45		六本木	<b>【リアルタイム診断と施肥管理】</b> (1)リアルタイム診断の必要性 (2)リアルタイム診断手法の開発 (3)作物別診断 (①果菜類、②花卉類、③果樹) (4)栽培現場における診断 (硝酸イオン測定)の簡易器具の説明 (5)養液土耕栽培(かん水同時施肥)
	15:45~16:00	休 憩		
4	16:00~17:30		渡 辺	<b>【肥料・ミネラルの作物と人での働き】</b> (1)農水省が硝酸態窒素に対する考えかたを変えた! (2)高品質、多収穫の施肥のポイント、注意点 (隠れた元素、マグネシウム、イオウ、ケイ素) (3)ミネラルと人間の健康、特にケイ素、ホウ素について (4)有機物施用で生じる微量元素欠乏 (特にホウ素、マンガン、銅、亜鉛)
	17:30~17:45	閉講式		終了後解散
	18:00~20:00	意見 交換会		(有志参加) 於: 未定

\* 講義内容は変更する場合があります。